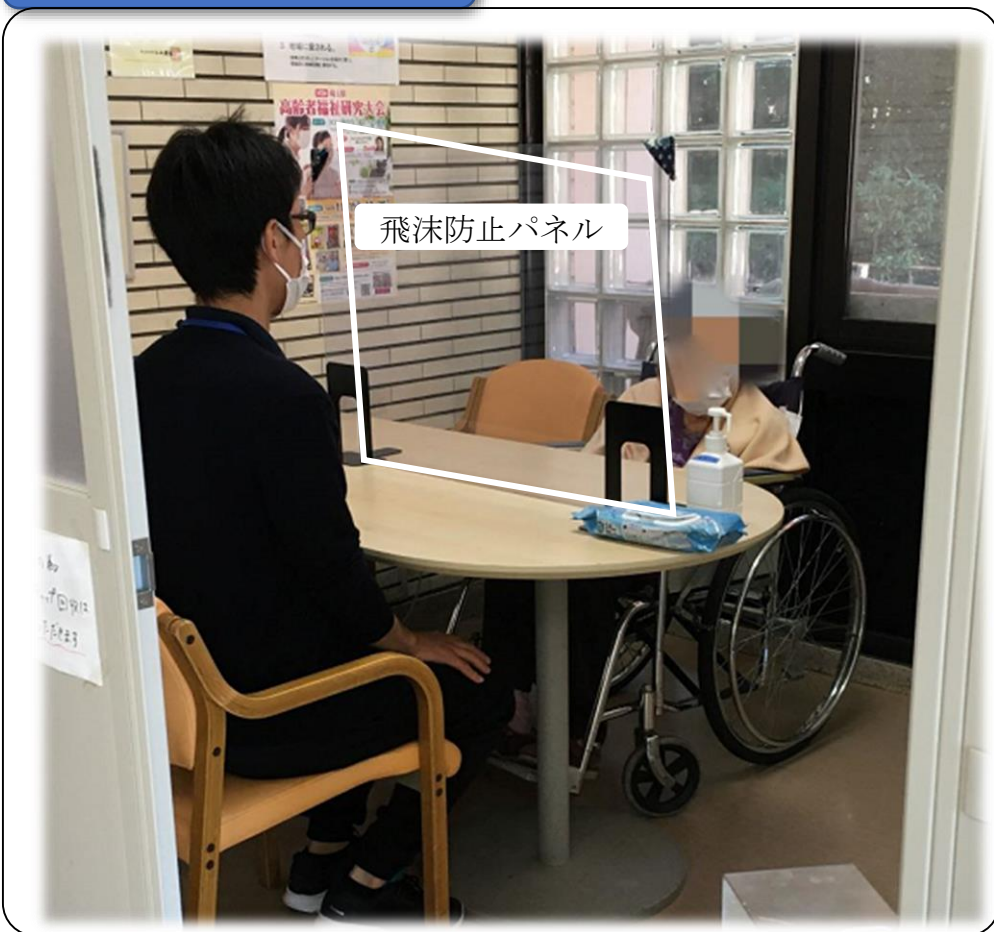


# 高齢者施設での面会の実施例 ①

- ◇高齢者施設での面会は、感染経路を遮断するために制限するという観点と家族などとのつながりや交流が心身の健康に良好な影響を与えるという観点の両面から実施のあり方を検討する必要があります。
- ◇各施設での対応の参考となるように、県内の高齢者施設での実例をお示しします。

## 対面での面会例



### 実施方法

- ・予約制。一日4組まで。
- ・入所者一人30分以内。
- ・面会者3人まで。
- ・面会前に体温測定、体調申告、手指消毒、マスク着用

### 工夫したこと

- ・飛沫防止パネルを設置
- ・なるべく窓を開放して換気を良くする。
- ・入所者、面会者とも面会前の数日間、体調管理を徹底している。

### 課題

- ・面会者と入所者が、面会中にだんだんと顔が近くなったり、手を握るなどのリスクはどうしても避けられない。
- ・それを防ぐために職員がそばについているとプライベートな場に立ち会うことになってしまう。

### 感染管理認定看護師の助言

- ・飛沫防止パネル等がない場合には、面会者とは2mの距離を確保しましょう。
- ・本当に必要な対策をシンプルに徹底することが大切です。
- ・1日あたりの面会家族数や、1回あたりの面会者の人数の適切性にはエビデンスがありません。施設や入所者の状態、地域の流行状況に合わせて検討しましょう。



# 高齢者施設での面会の実施例 ②

## 窓越しでの面会例

### 実際の様子



### 無線機を利用



### 実施方法

- ・ 予約制。一日6組まで。
- ・ 利用者一人15分。
- ・ 面会者無制限。

### 利点

- ・ 感染リスクが低い。
- ・ 映像ではなく本人に会える。

### 課題

- ・ 窓越しの直接の声がよく聞こえない。
- ・ 無線機を利用した場合は、その都度消毒する必要がある。
- ・ 無線機の場合は通話が一方通行になってしまう。
- ・ 認知症がある場合、そばにいても会えない理由が理解できないこともある。

### 工夫したこと

- ・ 利用者によっては、無線機を利用
- ・ 真冬や真夏は、窓外の面会者の防寒防暑のためビニールハウスや冷風機を設置

### 感染管理認定看護師の助言

- ・ 季節や天候がよければ問題ありませんね。



# 高齢者施設での面会の実施例 ③

## オンライン面会例

### 実際の様子



職員が操作を支援



### 実施方法

- ・ 予約制。一日6組まで。
- ・ 利用者一人15分。
- ・ 面会者無制限。

### 課題

- ・ 電話よりも顔が見えてよいが、実際に会うよりも会話が難しい。
- ・ 家族側、施設側の双方が操作に慣れていないとスムーズに面会が進まない。
- ・ 家族側、施設側双方でネット環境が必要

### 工夫したこと

- ・ 職員が操作方法を支援することでスムーズに実施

### 利点

- ・ 面会者からの感染リスクはない。
- ・ 家族が施設まで来なくて済む。
- ・ 複数の場所にいる者と同時に面会ができる。
- ・ 面会風景の録画が可能

### 感染管理認定看護師の助言

- ・ 感染リスクがなく安全です。双方のネット環境の整備や操作の慣れが必要です。

